

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

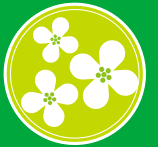
11.15

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターカメラリポート	
投稿記事	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
おしらせ	8
連載コーナー	10

深まる秋に
歴史も色づく！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターカメラリポート・投稿…2ページ
- 投稿…3ページ
- 地域の話題(神戸校区)…4ページ
- 市民活動を応援するページ…5ページ

広報サポーターカメラリポート



田原発のミュージカル



山内真由美



●10月23日(土)の練習の様子

こんにちは。広報サポーターの山内真由美です。今回は、来年1月の「家庭の日コンサート」ミュージカルに向けて、熱の入った練習に取り組む皆さんをご紹介します。

出演するのは、田原市楽友協会ジュニア合唱教室・田原混声合唱団・田原キッズダンスカンパニーの皆さんで、音楽劇『森は生きている』(12月物語・ロシアのサムイル・マルシャーク

●家庭の日コンサート

音楽劇『森は生きている』

*日 時：平成23年1月9日(日)

午後2時開演

*場 所：田原文化会館

*入場料：500円(チケット販売中)

*チケット販売：市内文化会館ほか

▼コンサートのお問い合わせは、田原市楽友協会事務局(金子) ☎23局2683へ

原作)を演じます。練習日は毎週土・日曜日の午前中で、この日、一部の人たちが初めて衣装を着ました。まだまだ遠慮がちな表現が多いので、担当の先生方から顔の向きや声の出し方、姿勢などについて、細かなアドバイスを飛びます。気持ち盛り上がり、会場の空気も緊張感でいっぱいです。ミュージカルの衣装や大道具、小道具は、出演者と保護者の皆さんが特技を活かして手づくりで準備します。お互いの意見交換も活発で、力のかもった制作活動が進んでいるようです。スタッフの方もキャストの方も風邪を引かないように、健康管理に気を付けて、すてきな発表になるといいですね。

ぜひ当日は、田原発の地域のミュージカルを応援しに会場へお出かけください。



田原市文化祭

投稿

田原市文化協会 会長 林和彦さん

10

月29日(金)～31日(日)に、田原市文化祭を田原文化会館や渥美文化会館などで開催しました。これは、市民の文化の向上を目的に開催しているもので、

展示会場や文化ホールでは、鑑賞する人の波が絶えず、終日にぎわいました。絵画や書道の作品だけでなく、写真、俳画、陶芸、生け花、籐手芸、革工芸、木工作品、盆栽、芸能発表、お茶会など、内容も多彩。作者の技量も年々上達してきているので、訪れた人たちを驚かせていました。田原市文化協会は昭和40年に活動を開始し、現在は会員数約2500人、団体数133、今年で40年目を迎えます。文化・芸術の秋です。ぜひ皆さんも一緒に、文化活動を楽しんでみませんか。



▶田原市文化協会
☎22局6063



生物多様性交流フェア

環境ボランティアサークル亀の子隊

代表 鈴木吉春さん

10月23日(土)・24日(日)に白鳥公園(名古屋市)で開催された、COP10「生物多様性交流フェア」にブースを出展してきました。

今回は「生物多様性」というテーマに合わせて、「海から考えよう〜生物多様性」と題して、メッセージを首から下げたスナメリの模型をつりました。そして、これまで「西の浜クリーンアップ活動」の際に見つけたスナメリや海鳥、カメの死体などの写真をパネルで紹介しました。

ブースを訪れた方たちは2日間で約400人。子ども向けの「海の生き物立体工作教室」が大人気で、2日間で70人を超える子どもたちがお面を作っていました。

このCOP10を通じて、「生き物が安心して生きていける海にしたい」「きれいな海を守りたい」という亀の子隊の思いが広がっていくようで、うれしい2日間でした。



福江のお祭り

福江市民館さん



▲町内5組の山車が集結

毎年、10月の第2日曜日

から3日間、わたり開催される福江の秋葉神社と島神社の大祭。この祭りの始まりは、享保13年の古文書『秋葉大権現造営之記』に、「島村地先(現福江町)の入江の沖に伸びる洲崎が、元和7年、

激しい風波によって切れ、入江の中に流れ込む海流が変わり、崖崩れがひどくなった。それを防ぐために正徳4年、秋葉神社を造ったことから」と記されています。

祭りの見どころは、余興として町内5組が、山車を引きながら祭り囃子や手踊りなどを披露し、島神社までを巡行するところ。原組、澤組、紺屋組、新宅組は毎年趣向を凝らした手作りの人形(張りぼて)を載せた



▲華やかに舞う親子ら



親子の絆 騎馬戦

中山保育園さん

山車、下地組は彫刻が美しい伝統のある山車が特徴です。この山車の引き回しで特に圧巻なのは、急傾斜の坂道を一気に上り詰める場面です。各組の誇りと威信をかけて行う祭りには、「岸和田だんじり祭」をほうふつさせる熱気と心意気を感じられます。

10月7日(木)、家族運動会を開催しました。かけっこや玉入れなど種目はたくさんありますが、中山保育園ならではの種目は騎馬戦です。



▲紅組と白組に分かれて競います

これは、お父さんやお母さん、家族の方などが、年長園児をおんぶして、帽子取りを行う競技です。二人の息をピッタリ合わせて、一生懸命に追いかけて。2回戦が終わるころには、おんぶをしている皆さんはヘトヘトでしたが、園児たちはとてもいい笑顔をしていました。

ぜひ皆さんの、身近な話題についてご投稿ください。

▼田原市役所 政策推進部広報秘書課

〒441-3492 (住所不要)

☎22局0138 ☎22局1091

✉koho@city.tahara.aichi.jp



▲谷ノ口公民館で開設している「ええZONEマーケット」



▲太平洋側から谷ノ口地区を望む

地域の話題

神戸校区

地域主体のまちづくり

市街地と、太平洋沿いの豊かな自然が混在する神戸校区。協働によるまちづくりを実践している「谷ノ口地区」から住民の手による地域づくりについて、お便りが届きました。

平

成8年、田原東部・神戸・大草・六連の4校区は、「みんなで考え・行動する地域づくり」を目的として「田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会」を発足させました。中でも谷ノ口地区は、海浜拠点整備と地域活性化のモデル地区として選定され、「谷ノ口総合整備促進協議会」を平成14年に設立し、校区や行政と協働で活動を行っています。

手作りの里山整備

都市と農村との交流拠点を目指す公園として整備が進んでいる(仮称)谷ノ口森林レクリエーション公園。完成後は、地区自ら維持管理を計画しています。現在は、谷ノ口公園準



備委員会を中心として、地区住民や里山の会、市職員などボランティアの協力により、毎月第2土曜日の午前8時から、公園予定地内の里山整備を行っています。平成20年度の「里山整備のつどい」を皮切りに、自分たちの手で繁茂する竹を刈ったり、階段を整備したりしています。実際に作業すると、敷地内の植生や管理の方法が把握できるため、完成した後の管理計画を立てるのに役立ちます。

「海釣り大会」のお知らせ

海の幸に親しむ会と神戸校区コミュニティ協議会が共催で開催します。お気軽にご参加ください。

日時 ● 11/21 日 早朝～14:00

受付 ● 8:00～12:00に谷ノ口公民館へ

釣り場 ● 南町海岸～東ヶ谷海岸

釣果報告 ● 13:00～14:00に谷ノ口公民館へ

その他 ● 参加無料/釣後受付可/賞品あり/少雨決行

▶谷ノ口公園準備委員会

☎090-5458-9152 (福井)

▶神戸市民館 ☎22局 0980

ええZONEマーケット

この公園で、谷ノ口海岸へ遊びに来る釣り人やサーファー、自然や農村を求める都会からの来訪者との交流が広がり、この地域が活性化していくことを期待しています。

地域の魅力発信と来訪者との交流を目的に平成16年度に開設した「谷ノ口ええZONEマーケット」は、今年で6周年を迎えます。毎週日曜日の午前8時30分から正午まで、谷ノ口公民館で、地元の新鮮な野菜や果実、畜産物、谷ノ口地区で作るジャムや焼肉のタレなどを販売しています。毎週楽しみにしていただいている方も多く、開店前には行列ができています。



市民活動を応援するページ.....



活動報告

特定非営利活動法人 うたた

平成22年度市民協働まちづくり事業補助金採択団体



▲絵本作家・美術家の田島さん

“障がいをお持ちの方への本人理解から始まる支援を目指して”

「アート（芸術）で、障がいをお持ちの方の未来を考えられないか？」との思いで発足して3年目。毎年、第一線で活躍されている絵本作家を招いてワークショップ（体験型講座）を開催しています。今年は、渥美どろんこ村さんと協働して田島征三氏をお招きし、『田島さんと福祉とアートを語ろう』（10月2日(土)）、『アートが生まれる！』（10月3日(日)）を開催しました。無心で優しい笑顔の田島さんが見守る中、自然あふれる渥美どろんこ村の里山フィールドで、障害をお持ちの方も、子どもや大人も、それぞれの個性を爆発させ、“アートと福祉”について考える一日となりました。

「うたた」からのお知らせ

福祉チャリティー絵画展

期間：12/1 函～12/25 会場：神戸館（喫茶店・神戸町明土）

お問い合わせ

代表・中根昌子

☎080-5121-0344 ☎22局 0344

✉nekoma@gray.plala.or.jp 🌐http://ka-gu.spur.ne.jp/



▲田島さんの講話に耳を傾ける参加者の皆さん

イベント情報

市民活動ニュース

➡このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
12/11 函 【見学】 14:00～15:30 【体験】 15:30～16:00	リズムにのって生き生きと！ ～太鼓仲間募集～ (平成22年度市民協働まちづくり事業補助金採択事業)	対象：小学生～大人 場所：亀山市民館 費用：無料 指導者：吉村城太郎氏	NPO 法人 渥美虹の会 ☎☎35局 6284 ☎☎090-9226-1977 (北原)
12/19 日 14:00～	第44回あつみロビーコンサート ～天使たちがクリスマスを運んできた！～	場所：渥美文化会館 多目的ホール&ラウンジ 費用：500円 (ドリンク付)	あつみロビーコンサート事務局 ☎☎32局 3963 (森下)

助成金情報

あなたの活動にお役立てください！

助成の名称	対象・内容	問い合わせ・連絡先
子どもゆめ基金	対象活動：子どもを対象とする体験活動や読書活動 対象経費：活動のために真に必要な経費 (謝金、旅費、雑役務費、その他経費) 申請期限：12/5 日 ※助成要件や限度額などはホームページにてご確認ください。	(独) 国立青少年教育振興機構 ☎ (03) 5790局 8117 ☎ (03) 6407局 7720 🌐http://yumekikin.niye.go.jp/

田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 函・日・日 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

❷ このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111 (内線812) ※開設時間のみ ☎23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 28

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、毎朝10分間の読書に取り組んでいる生徒の様子や、学校の裏山で活動する児童の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中学校「朝の読書」

心を耕す、朝の読書タイム！

田原中学校では、毎朝10分間「朝の読書」をしています。わずか10分という短い時間ですが、落ち着いた朝のスタートをきることができ、本を読む楽しさも知ることができる時間となっているようです。「朝の読書」について、生徒たちの声をいくつかご紹介します。

- 家ではなかなか読む時間がないので、学校で本を読めるのはいいと思います。
- 朝の読書の時間は、自分にとって一番落ち着く時間です。
- あまり本を読むのが好きではないですが、朝の読書の時間があると、本を読む機会ができていいです。
- 集中して読んでるので、あっという間に時間が過ぎてしまいます。もっと長い時間があるといいです。

部活動や学習などで毎日忙しい生徒たち。この「朝の読書」の時間に、ゆっくりと落ち着いて本の世界に入り、豊かな心を育てていって欲しいと願っています。



●3年生のオススメの本

●読書に集中する生徒

『君に届け』
『サマーウォーズ』
『恋空』
『ハナミズキ』
『タンブリング』
『ハリーポッター』



和地小学校「裏山での活動」

子どもたちの心と体を育てる裏山！



●年に2回「わが家の木」の草刈り作業



●「木の葉の芸術」

和地小学校の背後には、山頂まで一直線に階段が続いている標高96mの裏山があります。この裏山を本校の学習に取り入れてきた歴史は古く、始まりは90年ほど前の大正9年にまでさかのぼります。

現在の裏山では、柿やミカン、スモモなどの果樹を家族で育てていく「わが家の木」の活動と、年2回の親子草刈り作業、「ササユリの里」づくりを目指すササユリの保護・育成活動などを行っています。秋には縦割り班による「木の葉の芸術」、冬には登山道を走る「チャレンジ山登り」など、四季折々の行事を実施しています。また、月1回の「全校裏山集会」、縦割り班による「みどりのパトロール」も行っています。

裏山では、自然観察や自然保護、親子のふれあいなど、なかなか経験できない教育活動を行い、子どもたちの豊かな心を育て、体を鍛える場となっています。

10月18日【月】
交流を深めて
さらなる友情を

姉妹都市・韓国ソウル特別市銅雀区トシジャクの文ブン忠チュン實シク、区庁長など10名が来訪し、市の防災対策や農業の視察などを行ったほか、市内の国際交流団体と交流を深めました。また、市長を表敬訪問した文区庁長は「これからも友情を深めていきたい」と語りました。



▲文・銅雀区庁長(前列左から5番目)ら10名の訪問団と市の関係者

10月19日【火】
交通事故死亡事故ゼロ
継続を目指して

市役所前広場で「ファイナル作戦2010めざせ交通事故死亡ゼロのまち」出陣式が、市内の交通事故死亡事故ゼロ300日を突破したことを機に開催されました。交通安全団体など約150名が参加した式では、さらなる継続を目指し、警戒にあたる白バイなどが出陣しました。



▲サイレンを鳴らしながら、市民に交通安全を呼びかけました

10月15日【金】
自分の力を信じて
駆け抜ける！

第41回ジュニアオリンピック陸上大会の女子800メートルに出場する伊藤早紀さきさん(赤羽根中1年)が市長を表敬訪問しました。県大会で優勝し、同大会への出場権を勝ち取った伊藤さんは「力を出し切って決勝に進みたい」と意気込みを語りました。



▲市長から「プレッシャーに負けずにがんばって」と激励された伊藤さん

おしらせ				
INFORMATION				

AWARDS

表彰

農林水産統計業務協力者 農林水産大臣感謝状授与

長年にわたり農林水産統計調査に
功労のあった方々に、統計の日（10
月18日）を記念して、農林水産大臣
感謝状が授与されました。（敬称略）

- 大河幹和（六連町）
- 西山直司（六連町）
- 太田一成（伊川津町）
- 縦山節生（八王子町）

▼農政課

☎ 23局3517

FAX 22局3817



募集

WANTED

田原市臨時職員 （発掘出土品整理・発掘補助）

- ▼募集人員 3名
- ▼対象 郷土の歴史に関心のある方で健康な方
- ▼採用期間 平成23年1月5日～2月28日
- ▼勤務内容 赤羽根文化財収蔵庫などで発掘出土品の整理や発掘の補助作業
- ▼勤務形態 火曜日～土曜日/午前8時30分～午後5時15分
- ▼賃金 時給810円
- ▼選考方法 面接（詳細は後日通知）
- ▼申し込み 12月3日（金）までに文化財課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出/郵送の場合は必着
- ▼文化財課

☎ 23局3635 FAX 22局3811

冬休みエコキッズ学習会 参加者

- 地球温暖化について学び、家庭から出る廃食用油でエコキャンドルを作る学習会を開催します。みんなでエコライフについて考えましょう！
- ▼対象 小学校4～6年生
- ▼日時 場所 12月23日（木・祝）午前

10時～正午・渥美文化会館/午後2時～4時・田原文化会館

▼定員 各30名（先着順）

▼参加料 無料

▼その他 広口ビンなどの容器（エコキャンドル用）を持参

▼申し込み 12月13日（月）までに電話・FAXにて（FAXの場合は、住所、氏名、電話番号を明記）

☎ 23局7401 FAX 23局0180

田原菜の花エコプロジェクト体験 「菜種の搾油体験と行灯づくり」

- 第2回は、小型搾油機による菜種の搾油体験と、菜種油を利用した行灯づくりを行います。
- ▼対象 小学生
- ▼一般（小学生は保護者同伴）
- ▼日時 12月19日（日）午前10時～11時30分
- ▼場所 田原文化会館
- ▼定員 30名（先着順）
- ▼参加料 無料
- ▼申し込み 電話・FAXにて（FAXの場合は、住所、氏名、生年月日、電話番号を明記）
- ▼エコエネ推進室



☎ 23局7401 FAX 23局0180

第6回危険物取扱者試験

- ▼対象 一般
- ▼試験日 平成23年1月30日（日）
- ▼場所 名古屋市内
- ▼種類 甲種・乙種第4類・丙種
- ▼申し込み 12月13日（月）～12月22日（水）の期間に市役所消防課または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ提出
- ▼その他 テキスト、事前講習会および電子申請についてはお問い合わせください。
- ▼消防課

☎ 23局4074 FAX 23局0180



渥美運動公園パターゴルフ場の利用中止のお知らせ

長年ご利用いただきました渥美パターゴルフ場を、施設の老朽化および利用者数の減少に伴い、12月27日（月）から閉鎖工事のため利用中止とさせていただきます。今後は、赤羽根文化広場・緑が浜公園のパターゴルフ場をご利用くださるようお願いします。

▶生涯学習課

☎ 23局3531 FAX 22局3811

生活

LIFE

道路改良工事(田原駅南)に伴う交通規制にご協力を

市道田原駅前通り線道路改良工事に伴い田原町・赤石地内での交通規制(車両片側交互通行)を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼期間 平成23年3月下旬まで(予定)
▼場所 地図のとおり

※通行規制の案内は、現場付近に設置する看板でもお知らせします。

▼街づくり推進課

☎23局35335 FAX22局3811

田原町・赤石地内の交通規制



年末の交通安全県民運動 12月1日水〜10日金

年末年始を迎えるこの時期は、最も交通事故が多発する時期です。飲酒運転は絶対にやめ、思いやりある運転で交
通事故をな
くしましよ
う。



●重点目標

- 飲酒運転を根絶しよう
- 高齢者を交通事故から守ろう
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう

▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

年末の安全なまちづくり県民運動 12月1日水〜20日月

地域の皆さんと防犯協会や警察が協力し合い、身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行います。地域ぐるみで防犯活動に取り組み、安心して暮らせるまちを目指しましょう。



●重点項目

- 子どもと女性が被害者となる事件・事故の防止
- ひったくりなど街頭で発生する犯罪の防止
- 住宅・店舗などを対象とする侵入犯罪の防止
- 振り込め詐欺の被害防止

▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

人権週間 12月4日土〜10日金

人権は、私たち一人ひとりの生命や自由・平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利です。日常生活を振り返って、「他人の権利を侵していることはないだろうか」「自分の人権が侵されていないだろうか」など、身近なことから人権を考えてみましょう。

日ごろの生活の中で「人権問題ではないだろうか」と感じた方や「法律上どのようなものか」などお困りの方は、お近くの人権擁護委員または法務局にご相談ください。

▼名古屋法務局豊橋支局

☎(0532)54局9278
FAX(0532)54局9280

▼福祉課

☎23局3512 FAX23局3545

DONATION

寄付

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼10月1日、福江小学校 石花会代表者 原功一様から福江小学校教育向上のため壁掛扇風機24機。

▼10月5日、三河ミクロン株式会社代表取締役 彦坂直政様から田原市立小中学校・保育園の花いっぱい運動の推進および環境教育の向上のため、草花用培土バラ33立方メートル、袋840袋。

◆「少年物語 渡辺崋山」感想文表彰

小学6年生が卒業するときに(財)崋山会から贈られる冊子「少年物語 渡辺崋山」が、夏休み前に配布され、感想文が募集されました。市内小学6年生から29点の応募があり、優秀賞に決まった5名が、田原市民まつりの中で表彰されました。※この感想文の募集は来年度以降も実施されます。

【優秀賞】河合佑斗くん(田原中部小)、江口祥悟くん(田原中部小)、高橋真鈴さん(衣笠小)、大竹琳子さん(野田小)、中神康輔くん(童浦小)

▶(財)崋山会事務局 ☎22局1700

広がる未来へ

55

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●グリーン・ネットワークプロジェクト

◆緑化推進

公園の樹木や街路樹は、二酸化炭素を吸収するなど、地球環境にとってもやさしいです。これらの「緑」は、気温の上昇を抑える効果もあります。皆さんも、家庭で庭木などを植えたり、生垣や花壇作りに挑戦したりしてみてはいかがでしょうか。

◆里山保全

里山保全活動の一つに間伐があります。



▲グリーンレンジャー

間伐とは、樹木が生長して混み合ったときに、伐採して間引くことをいいます。間伐しないと、森には光が入らず下草が生えないため、雨が降るたびに表土が流れ出し、川に土砂が流れ込むなどの災害が起こります。また、樹木が育たず、地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収する能力も衰えてしまいます。田原市の豊かな自然を守っていききたいですね。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1235人 事業所56か所(10月末現在)

♥地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校高学年の部

河合俊哉くん(田原中部小学校)



●白井敦貴くん(衣笠小学校)



●中学校の部

浜千代良夢さん(田原中学校)



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

シャンプーのボトルやお惣菜のパック、カップ麺の容器など、私たちの身の回りには多くのプラスチック製容器包装があります。今回は、そのリサイクルについてご紹介します。

プラスチック製容器包装とは?

飲料酒・しょうゆ用のペットボトル以外のプラスチックで作られた容器包装のことで、識別するフタマークがついています。

どのようにリサイクルされるの?

回収されたプラスチック容器類は、小片や粒にして、製品の材料としてリサイクルされる方法と、科学的工程によって分解処理され、製鉄会社の燃料などとしてリサイクルされる方法があります。

リサイクル商品

- 文房具
- フラントー(植木鉢)
- フェンスやベンチ
- 工業製品を運ぶパレット
- マンホールのふた など

プラスチック容器類の出し方

フタマークを参考に分別しましょう。中身は使い切り、洗って乾かしてから出してください。
※お菓子の袋や、汚れた容器などは、もやせるごみへ出しましょう。

分類に悩むもの

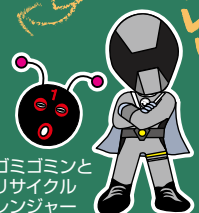
- プラスチック製のスプーンやフォーク、洗剤の計量スプーンはもやせるごみへ
- 果物が入っているネットや、プチプチの緩衝材はプラスチック容器類へ

「ごみの分け方出し方」パンフレット

を確認し、分別にご協力ください。

清掃管理課

☎23局65508
FAX23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

31

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

友好都市 長野県阿南町で田原市の児童・学生が交流

友好を深めている阿南町との交流事業をご紹介します。

●和地小学校と阿南町の小学校との交流

6月23日(水)～25日(金)の3日間、和地小学校の4・5年生が阿南町の^{おおしもしょう}大下条小学校などを訪れ、「山の生活」を体験しました。

和地小学校と大下条小学校の児童は、6月3日(木)に和地海岸で交流を行っており、約3週間ぶりの再会となりました。「元気だった?」などと声を掛け合



▲川遊びでうれしさはじけて笑顔いっぱい!

いながら、児童たちは仲良く^{まゆたま}繭玉工作や学校探検を行いました。

阿南町の友だちとさらにきずなを深めた和地小学校の児童たち

は、すでに来年の交流が待ち遠しい様子を見せていました。



▲みんなで記念撮影(大下条小学校にて)

●“たっぷく”の福祉交流

9月2日(木)、田原福祉専門学校の学生が阿南町の福祉施設「下瀬しあわせ村」と「お元気サルビアの郷」で体験学



▲クラフト作成の補助

習を行いました。学生たちはグループに分かれ、高齢者や障害者の方と昔の懐かしい歌を歌ったり、フラワーアレンジメントを作成したりするなど交流しました。いつもとは違った環境での学習は、学生生活の思い出のひとつとして残る貴重なものとなったようです。

- ① 「171」にダイヤル
- 録音方法
- 利用方法



◆災害用伝言ダイヤル「171」
震度6弱以上の地震が発生したときなど、被災地への安否確認の電話が集中する場合、NTTでは、「災害用伝言ダイヤル」サービスを開始します。このサービスは、家族や親戚などの安否確認を行うための「声の伝言板」の役割を果たします。

- 再生方法
 - ① 「171」にダイヤル
 - ② 「2」をダイヤル
 - ③ 安否情報などを確認したい相手の電話番号をダイヤル
- ※伝言には保存期間がありますのでご注意ください。/ダイヤル回線をご利用の場合、PB信号を出せる操作をした時のみ操作可能となります。
- 災害用伝言ダイヤルを体験しよう
 - 期間
 - 毎月1日・15日/0時～24時
 - 正月三が日
 - (1月1日0時～1月3日24時)
 - 防災週間
 - (8月30日9時～9月5日17時)
 - 防災とボランティア週間
 - (1月15日9時～1月21日17時)

▼防災対策課 ☎ 23局3548

かんちゃん

防災まめ知識

66



忍びよる巨大地震

災害時の家族の安否確認

こんにちは、かんちゃんです。災害時に家族が離ればなれになるのは、とても不安なことです。災害が発生したとき「お互いの安否確認はどうするのか」「勤務先や学校からどのようにして自宅に帰るのか」など、具体的な対策を家族で話し合っておきましょう。

- ② 「1」をダイヤル
- ③ 自分の電話番号をダイヤルし、ガイダンスに従い録音

歴史探訪

クラブ! 其の116

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

豊川用水の生みの親 近藤寿市郎

田原市は全国一の農業算出額（平成18年）を誇る農業王国です。その礎となったのは、昭和42年の豊川用水の通水にはかなりません。水が豊富でない半島では、通水以前はため池やわずかな湧水、家庭では雨水のため、井戸水で散水用の水を確保していました。その苦労は、言葉では言い表せないほど大変でした。

さて、田原市の農業を発展させた豊川用水は、一人の政治家の発想から生まれました。その生みの親で

ある近藤寿市郎は、明治3年（1870）4月15日、現在の高松町に生まれました。高松村役場勤務などを経て、明治28年に高松村長になりました。そして明治36年から渥美郡会議員、同44年から愛知県議会議員、昭和4年から衆議院議員、昭和11年から豊橋市議会議員、昭和16年から豊橋市長を務めました。



●近藤寿市郎の像(赤羽根文化広場)

県議会議員時代の正11年、単身でジャワ島の農業水利事業や港の建設工事を視察し、「奥三河の宇連川にダムを築き渥美半島などへの灌漑用水路建設」や「豊橋港の改修事業」などの発想を得たといえます。そして、寿市郎は県議会でこの構想を提唱しました。しかし、土木機械が豊富な現代と違い、当時の人々にとってその工事は予想もつかないことだったでしょう。あまりにも壮大な話であったため、県議会でもまったく相手にされず一笑に付されました。これらの構想は、のちに「近藤

の三大ホラ」と言われたそうです。しかし、一つめのホラは豊川用水の通水として実現し、二つめのホラも一部は現在の三河港として、三つめのホラも現在の赤羽根漁港として、いずれも戦後になってから実現されています。決して「ホラ」ではなく、先を見る目があったと言えます。

終生、東三河の発展を願う「ホラ」を吹き続けた寿市郎は、豊川用水の完成を待たず、昭和35年4月14日に89歳で亡くなりました。

今では当たり前のように、バルブをひねれば作物に水を与えることができます。桶を担いで柄杓で水をまいた時代とは雲泥の差で、その苦労の記憶も薄れてきています。今だからこそ、豊川用水の恩恵に感謝をするとともに、この事業を成功させた寿市郎を始めとする関係者の人々の苦労を知る必要があるでしょう。

田原市教育委員会では、ふるさと学習を進めるにあたって、寿市郎のようにふるさとに貢献した人たちの生き方を学び、その人たちの功績を風化させないため、田原市に貢献した人の情報を収集しています。行政・文化・産業など、あらゆる分野で活躍、貢献した地域の人の情報をお寄せください。

(増山)

今月の「表紙」

▼田原城跡にある大きな2本のイチヨウの木。昨年、台風18号で散ってしまつたので、今年こそは金色に輝く姿を撮ろうと心に決めていました。天気予報を見ては一喜一憂。風が吹かないか、台風は来ないか、晴れるかどうかなど。夏の猛暑で色づき心配でしたが、見事な姿を見せてくれました。(O)

【表紙の写真】田原城跡「桜門」のイチヨウ

本誌は再生紙を使用しています。